

宮城・仙台城跡

せんだいじょう

- |         |                |            |       |   |
|---------|----------------|------------|-------|---|
| 5       | 4              | 3          | 2     | 1 |
| 所在地     | 宮城県仙台市青葉区川内    |            |       |   |
| 調査期間    | 第一六次調査         | 二〇〇六年(平18) | 九月~一月 |   |
| 発掘機関    | 仙台市教育委員会       |            |       |   |
| 調査担当者   | 渡部 紀・鈴木 隆・鹿野仁子 |            |       |   |
| 遺跡の種類   | 城館跡            |            |       |   |
| 遺跡の主な構造 | 二重濠            |            |       |   |

6 遺跡の年代 江戸時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

仙台城跡は仙台市街地の西方に位置する山城で、青葉山丘陵及びその麓の河岸段丘部分に城域が形成されている。初代仙台藩主伊達

○政宗が、慶長五年（一六〇九）一二月に築城を開始し、慶長七年五月に一応の完成

調査地は、三の丸巽門跡

調査面積は四七一m<sup>2</sup>である



(仙 台)

出した。堀の底面は未確認だが、一七世紀の遺物を含む粗砂層 (XIX層) が確認され、堀の規模は、南北幅が三五m以上、深さが現地表面より六・三五m以上となる大規模なものであることがわかつた。

堀の堆積層は二層に大別される。  
木簡は、堀北岸近くのIV層から一点出土した。IV層は、自然木、

物には下駄や漆塗りの板材など多数の木製品がある。

(1) 「御用之□□

• 1

(99.5)  $\times$  36.5  $\times$  4.3 019

上端と左右両辺は原形をとどめているが、下端は欠損している。

墨書の内容から荷札と考えられる。裏面にも墨書きされた文字が見られるが、判読は難しい。樹種はスギである。

なお、糺讀にあたつては、仙台市博

9 関係文献

仙台市教育委員会 平成八年度調

查報告書 仙台城跡七』（仙台市文化財

調査報告書(一〇九  
一〇〇七年)

(鹿野仁子)

